

会計名			アジア・アジアパラ競技大会開催事業				担当部		教育部	
一般会計							担当課		アジア・アジアパラ競技	
款	項	目							大会推進室	
10	6	2							総務係	

PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	スポーツ							
		施策の内容	スポーツを通じたまちづくり							
		目的	2026年に愛知県で開催されるアジア・アジアパラ競技大会の一部競技を本市に誘致し、アジア最大級のスポーツイベントを盛り上げるとともに、本市のスポーツ振興を図る。		主たる内容	○大会運営準備を行う ○大会開催に向けた機運醸成を行う ○大会開催日 ・アジア競技大会 令和8年9月19日～10月4日 ・アジアパラ競技大会 令和8年10月18日～10月24日				
	位置づけ	関連計画	第3次刈谷市スポーツマスタープラン							
		根拠法令								
	対象者	市民、競技団体	事業期間	令和4年度～令和8年度						
		実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績	（アジア競技大会開催事業にて実施） ・アジア競技大会PR活動実施 3回 ・第19回アジア競技大会（杭州）視察		6年度実績		7年度実績		8年度計画	
					・公用車ラッピング 2台 ・ブース出展 12回 刈谷わんさか祭り、ホームタウンパートナーの試合、KARIYA URBAN FES.、多文化交流フェスタ in 刈谷、かきつばたマラソン大会、刈谷桜まつり等		・実行委員会の開催 ・実行委員会公式Instagramの運用 ・ブース出展 ・2025ジャパンパラ車いすラグビー競技大会の開催 ・愛知教育大学学生アンバサダーの募集		・実行委員会の開催 ・アジア競技大会聖火リレー盛り上げイベント ・アジアパラ競技大会聖火リレー・採火式 ・シティドレッシング ・文化プログラム（アジア版万燈の展示・紹介等） ・アジアパラ競技大会学校観戦等	
成果			各種イベントへのブース出展や関連イベントの実施等によりアジア・アジアパラ競技大会の認知度の向上を図った。							
課題			更なる認知度の向上のため、実行委員会を主体とした機運醸成による市民参画の促進につなげる必要がある。							
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				5年度	6年度	7年度	8年度	10年度		
		活動指標	アジア・アジアパラ競技大会PR活動（回）	3	12	16	3	—		
		活動指標	刈谷市実行委員会の開催（回）	—	0	3	3	—		
他市との比較検証		実行委員会の組織：刈谷市、碧南市								
C 事業コスト		単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
	事業費 ①		816	284	5,124	58,356	合計	5,123,882 円		
	財源	特定財源	0	0	1,631	8,450	旅費	27,840 円		
		一般財源	816	284	3,493	49,906	委託料	1,630,222 円		
	職員人件費 ②		5,371	11,547	19,846	34,288	負担金、補助及び交付金	3,465,820 円		
	総事業費（①+②）		6,187	11,831	24,970	92,644				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称				
		7年度までの累積事業費		0		アジア・フレンドシップ事業費補助金（県）				
		9年度以降の事業費見込		0		アジア・フレンドシップ事業助成金				

会計名			アジア・アジアパラ競技大会開催事業		担当部	教育部	
一般会計					担当課	アジア・アジアパラ競技	
款	項	目			大会推進室		
10	6	2			担当係	総務係	
C H E D C K ハ 評 価 V	内部評価	各視点からの評価			評価の理由		
		必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など	高い	アジア最大級のスポーツの祭典の一部競技を本市で開催し、市民が高いレベルの競技に触れることで、本市における更なるスポーツ振興を図ることができる。		
		効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など	普通	アジア・アジアパラ競技大会の開催に合わせて、県及び組織委員会と連携して取り組むことで、効果的にスポーツを通じたまちづくりを推進することができる。		
		妥当性	・ 市が主体となって実施すべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など	高い	アジア・アジアパラ競技大会の開催を、スポーツ振興や市民交流、地域活性化などにより、スポーツを通じたまちづくりの推進につなげるため、市が主体となって実施すべき事業である。		
		施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など	高い	第3次スポーツマスタープランに掲げる「みるスポーツ」の推進を図る上で、スポーツを通して市民に夢や希望を与えることができるなど、貢献度の高い事業である。		
		今後の方向性		■ 拡充 □ 現状維持 □ 改善・効率化 □ 縮小 □ 終期設定 □ 休止・廃止			
		第3次スポーツマスタープランに掲げるスポーツを始めるきっかけづくりの実現に向けた施策の一つである「みるスポーツ」等を推進するため、今後も事業の拡大を図ることで、アジア・アジアパラ競技大会開催に向けた機運を醸成していき、スポーツを通じたまちづくりを推進していく。					

会計名			-wingアリーナ刈谷等施設改修事業				担当部		教育部	
一般会計							担当課		アジア・アジアパラ競技	
款	項	目							大会推進室	
10	6	3							担当係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	スポーツ							
		施策の内容	施設の整備・充実・開放							
	目的	施設機能を拡充することにより、市民のスポーツ需要への対応と健康増進を図る。				主たる内容	○wingアリーナ刈谷等の改修工事等			
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
		対象者	市民、競技団体			事業期間	令和7年度～令和7年度			
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他								
BDO 事業実績 計画 実施 V	5年度実績		6年度実績		7年度実績		8年度計画			
					・ウェーブスタジアム刈谷ナイター灯改修工事 ・wingアリーナ刈谷アクセシビリティ対応工事					
	成果		施設改修により利用者の安全性や利便性の向上を図った。							
	課題		日頃の点検を強化し、適切な維持管理を担保する必要がある。							
	指標名称（単位）				実績値			目標値		
					5年度	6年度	7年度	8年度	10年度	
	活動指標	利用者満足度（％）			88.0	89.4	88.8	89.5	90.0	
	活動指標									
	他市との比較検証	公認陸上競技場 第1種 名古屋市 第2種 豊田市、知多市 第3種 名古屋市、豊橋市、豊川市、一宮市、半田市、刈谷市								
	C 事業コスト	単位：千円		5年度（決算）	6年度（決算）	7年度（決算）	8年度（予算）	7年度事業費内訳		
事業費 ①		0	0	392,469	0	合計	392,469,000 円			
財源		特定財源	0	0	391,728	0	工事請負費	392,469,000 円		
		一般財源	0	0	741	0				
職員人件費 ②		0	0	3,308	0					
総事業費（①＋②）		0	0	395,777	0					
建設事業		全体事業費（単位：千円）		0		7年度特定財源名称				
		7年度までの累積事業費		0		アジア・アジアパラ競技大会市町村施設改修事業費補助金（県）				
	9年度以降の事業費見込		0		スポーツ振興くじ助成金					

会計名			ウィングアリーナ刈谷等施設改修事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	アジア・アジアパラ競技
款	項	目			大会推進室
10	6	3		担当係	総務係
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	・ 法的業務 ・ 市民ニーズ、社会需要 ・ 市民生活上必要である など		高い	市民が利用できる施設の拡充に必要な事業である。
	効率性	・ コストの節減、費用対効果 ・ 執行体制の効率性 ・ 手段の最適性 など		普通	計画的な経費の執行が必要である。
	妥当性	・ 市が主体となって実施するべき事業であるか ・ 総合計画との整合性 など		高い	市民がスポーツ活動に参加しやすい環境づくりを推進する事業であり、市の主体的な関与が必要である。
	施策への貢献度	・ 施策への貢献度 ・ 目標達成度 ・ 市民サービスへの効果 など		高い	スポーツ施設の計画的な整備に寄与している。
	今後の方向性		□拡充 ☒ 現状維持 □改善・効率化 □縮小 □終期設定 □休止・廃止		
	施設が存続する限り計画的な施設整備（公認工事への対応、国際大会向けの整備計画）が必要である。				